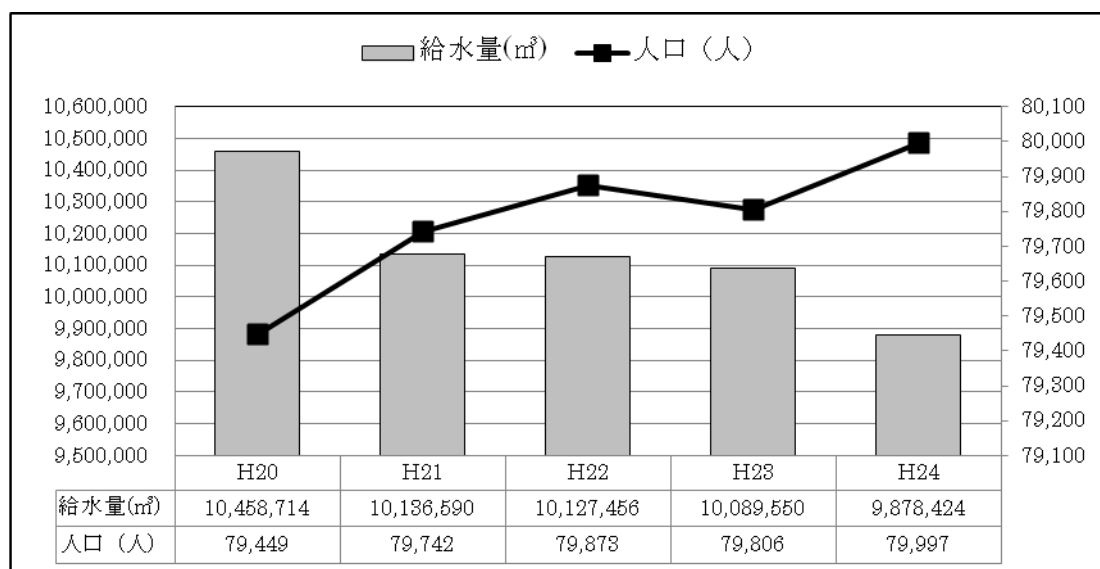
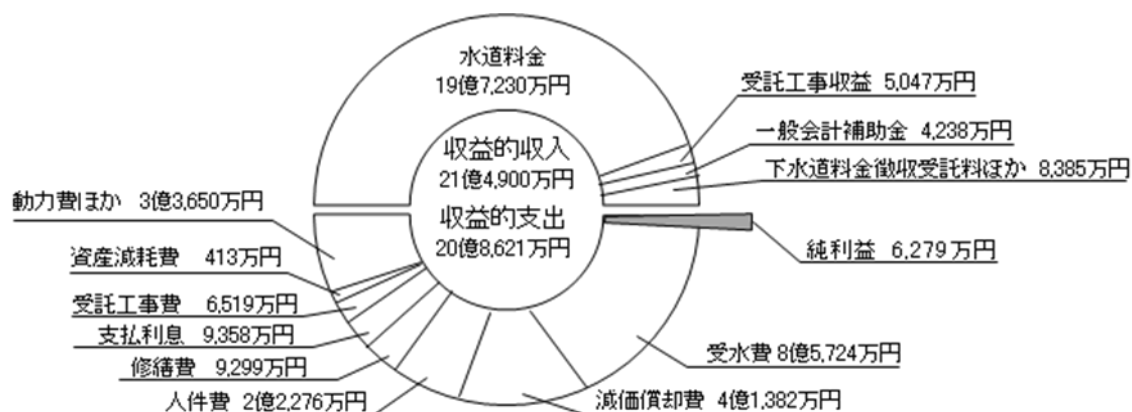


◆給水量と給水人口の推移



◆収益的収支(消費税抜き)



収益的収支は、お客さまからいただいた水道料金や給水管の引き込み工事代金などの収入と、各家庭や店舗・会社・工場等へ水道水をお届けするためにかかる費用や給配水管の工事費、企業債の支払利息、減価償却費などの支出からなります。

収入は、給水収益(水道料金)が19億7,230万円、給水管の引き込み工事料などの受託工事収益が5,047万円、地下水保全等の一般会計からの補助金が4,238万円、下水道使用料徴収受託料などその他の収益が8,385万円で、総額は21億4,900万円となりました。

一方、支出は、京都府営水道の受水費が8億5,724万円、減価償却費が4億1,382万円、人件費が2億2,276万円、修繕費が9,299万円、支払利息が9,358万円、受託工事費が6,519万円、資産減耗費が413万円、動力費ほかの費用が3億3,650万円で、総額は20億8,621万円となりました。

この結果、収益的収支は、6,279万円の純利益となり、前年度繰越利益剰余金3億222万円と合わせ、未処分利益剰余金3億6,501万円を翌年度へ繰越すことができました。

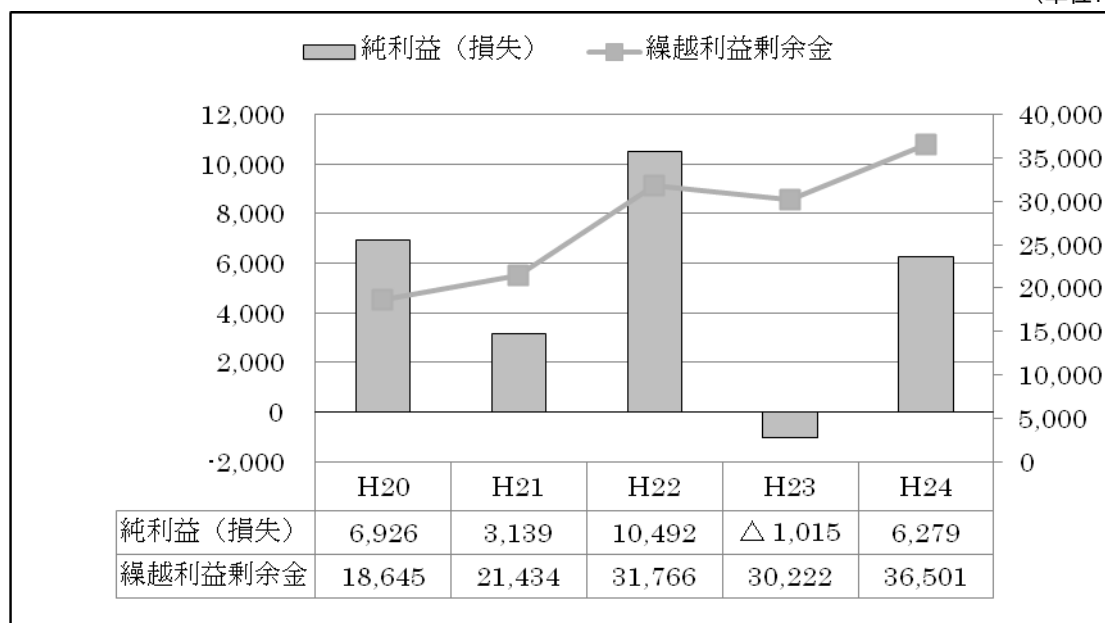
◆収益的収支の対前年度比較

(単位: 万円、%)

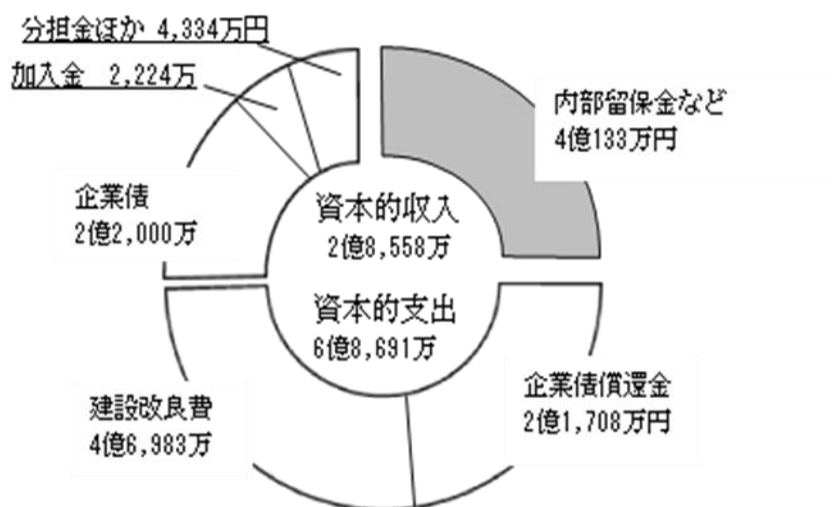
区分	H24 年度	H23 年度	増減額	増減率
収益的収入	214,900	224,997	△ 10,097	△ 4.49
水道料金	197,230	201,496	△ 4,266	△ 2.12
受託工事収益	5,047	9,613	△ 4,566	△ 47.50
一般会計補助金	4,238	4,286	△ 48	△ 1.12
下水道料金徴収受託料ほか	8,385	9,602	△ 1,217	△ 12.67
収益的支出	208,621	226,012	△ 17,391	△ 7.69
受水費	85,724	86,901	△ 1,177	△ 1.35
減価償却費	41,382	41,530	△ 148	△ 0.36
人件費	22,276	23,525	△ 1,249	△ 5.31
修繕費	9,299	15,511	△ 6,212	△ 40.75
支払利息	9,358	9,598	△ 240	△ 2.50
受託工事費	6,519	11,124	△ 4,605	△ 41.40
資産減耗費	413	6,538	△ 6,125	△ 93.68
動力費ほか	33,650	31,285	2,365	△ 7.56
純利益	6,279	△ 1,015	7,294	△ 718.62

◆純利益(損失)と繰越利益剰余金の推移

(単位: 万円)



◆資本的収支(消費税込み)



資本的収支は、資金の借入(企業債)や工事分担金などの収入と、水道施設の新設・更新工事などに係る費用や企業債の元金償還に要する経費などの支出からなります。

平成24年度は、友岡地内配水管新設工事、友岡・調子地内配水管布設工事、井ノ内坪井他地内送配水管布設工事、東第2浄水場濾過ポンプ取替工事、平成23年度からの繰越工事で北配水池築造工事などを行いました。これに災害用給水栓の購入などの固定資産取得費と事務費を合わせ建設改良費は4億6,983万円となりました。また、企業債の元金償還金が2億1,708万円で、支出総額は6億8,691万円となりました。

これらに充当する資金として、企業債(借入金)が2億2,000万円、加入金が2,224万円、分担金ほかが4,334万円で、収入総額は2億8,558万円となりました。収入総額から支出総額を差し引いた額は4億133万円の不足額となり、損益勘定留保資金(減価償却費などの現金を伴わない費用)などで補てんしました。

◆資本的収支の対前年度比較

(単位: 万円、%)

区分	H24 年度	H23 年度	増減額	増減率
資本的収入	28,558	20,583	7,975	38.75
企業債	22,000	15,700	6,300	40.13
加入金	2,224	4,680	△ 2,456	△ 52.48
分担金ほか	4,334	203	4,131	2,034.98
資本的支出	68,691	56,494	12,197	21.59
企業債償還金	21,708	24,289	△ 2,581	△ 10.63
建設改良費	46,983	32,205	14,778	45.89
資本的収支不足額	40,133	35,911	4,222	11.76